

## 10-7 大雨のときのことを考え、話し合ってみよう⑦ — みんなで発表しましょう

今までにグループで話し合いをした結果について、グループごとに発表を行い、参加者全員で共有します。



自分たちが考えたことをきちんとみんなに伝えるとともに、他の様々な考えを共有することで、さらに理解を深めます。



時間軸

### 実施内容

以下の説明文【例】を参考にお話ししてください。

#### 1 発表 (10分)

##### 説明文【例】

- ① それでは、これまで考えてもらった地域の特徴や風水害で起こる被害、避難するときに注意することについて、グループごとに発表してもらいます。グループで発表する人を1人決めてください。
- ② (発表者が決まったら) では、1班から発表をお願いします…。



各グループごとに発表

#### 2 講評 (5分)

→資料 10-5・10-6

##### 説明文【例】

(資料 10-5 を配付してください。)

- ① それでは、最後にまとめをします。特に、風水害により発生する被害や風水害時の避難についてももう一度確認をします。
- ② 資料 10-5・10-6 をもとに、発表で出た内容を再度紹介するとともに、発表の出なかった意見も紹介します。



資料をもとに講評

#### 3 おわりに

##### 説明文【例】

- ① 今日の学習は以上になります。今日学んだことを是非役立てていただき、また機会があれば他の人と話し合ってみてください。
- ② それでは、以上で災害図上訓練 DIG (風水害版) を終了します。

### ●● 指導ポイント

講評については、資料10-5をもとに行います。発表の際に出た内容をチェックしておき、まず発表で出たものを紹介します。その後、発表で出なかったものを紹介します。

また、風水害時の避難は、十分に注意して安全を確保した上で避難することが大切です。そのことを説明し、認識させることが重要です。

### ●● 自主防災組織の関わり方

各グループにはりついて、講師の指導を手伝う役をお願いすることが考えられます。

### ●● 準備するもの(目安)

準備品	数	備考
<input type="checkbox"/> 資料「風水害時の対応」	1	資料10-5 (指導者用)
<input type="checkbox"/> 資料「被災者の体験を聞く」	1	資料10-6 (指導者用)

### ●● 家庭への持ち帰り

風水害時の避難について家族としっかり話し合いをしましょう。

### ●● ひと工夫

発表後、時間があれば、各グループで作成した地図を参加者全員でながめて、どのような違いがあるかを確認しましょう。みんなで地域の課題について共有できれば、さらに理解が深まります。

### ●● 注意事項

発表については、作成した地図を参加者に見てもらいながら、地域の特徴を意識させることが重要です。また、最終的な目標として、自分たちは災害時にどんなことができるのかを把握できるようにすることも重要となります。